

第101期

中間株主通信

2024年4月1日から2024年9月30日まで

DAIDO STEEL GROUP Beyond the Special

Business Report

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

ここに、第101期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)における事業概況についてご報告申し上げます。

2024年12月



代表取締役社長

清水哲也

 大同特殊鋼株式会社

証券コード 5471

決算概況

当中間期の連結営業利益は、前年同期比5億63百万円増益の182億58百万円となりました。主要需要先である自動車関連の特殊鋼受注は、中国における販売不振や認証不正問題による生産減少の影響で減少しましたが、ステンレス鋼の受注は前年同期比で増加しました。また、自由鍛造品の受注は航空機産業や重電での需要が堅調であり、大幅に増加しました。鉄スクラップ価格や原油・LNGなどエネルギーコストも高位で推移しましたが、徹底したコスト削減と販売価格への反映により適正マージンの確保に努めました。

経営環境および今後の取り組み

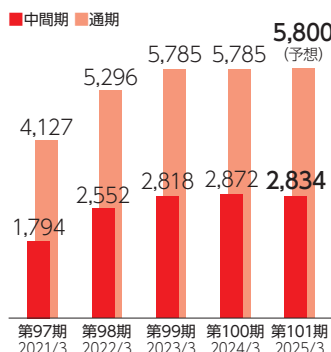
今期につきましては、主要需要先である自動車関連の受注は、自動車生産減少の影響で当初計画を下回ることが予想されます。半導体関連の受注に関しても、持ち直しの動きもみられるものの、本格回復の時期は来期になると考えております。一方、自由鍛造品は、引き続き堅調であると考えております。また、コスト面では、物価高騰下において各種調達コストの上昇なども想定されるなかで、さまざまな経営努力を行うことで、徹底したコスト削減を継続してまいります。

なお、本年6月に2026年度までの3年間を実行期間とする中期経営計画を公表しましたので、その概要を3頁に記載しております。

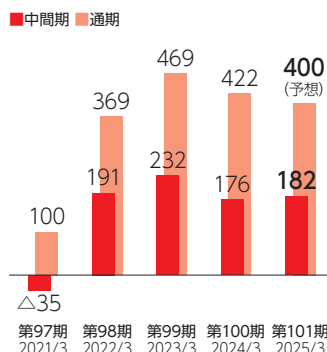
当中間期の配当

当中間配当は、中間決算および通期業績見通しを総合的に勘案し、1株あたり21円とさせていただきます。

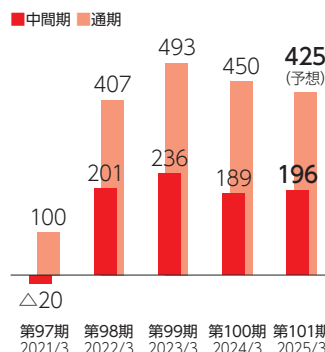
売上高/売上収益 (億円)



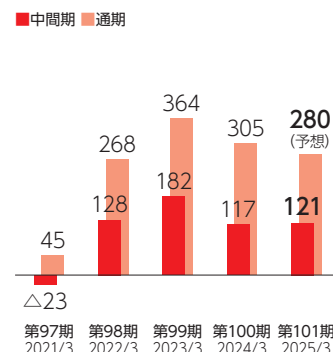
営業利益 (億円)



税金等調整前当期純利益/税引前利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する当期純利益 (億円)



*第97期、第98期、第99期は日本基準での業績数値になります。

事業別の概況

※第97期、第98期、第99期は日本基準での業績数値になります。

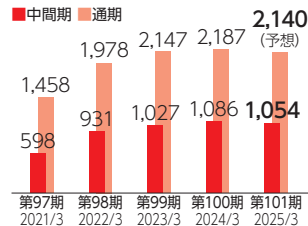
特殊鋼鋼材



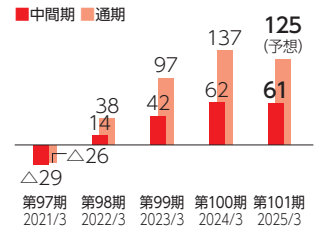
構造用鋼、軸受鋼、金型用の工具鋼など、主に自動車、産業機械分野で使用される屈強な素材の製造・販売をはじめ、原料、資材の調達、物流管理、流通に至るまで幅広い事業を展開しています。



売上高／売上収益 (億円)



営業利益 (億円)



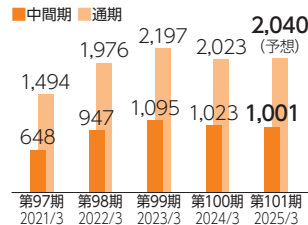
機能材料・磁性材料



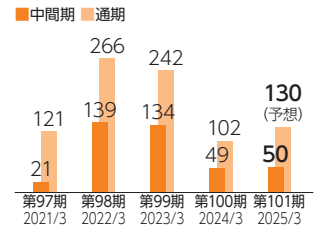
ステンレス鋼、高合金、合金粉末、チタン、磁石製品、ターゲット材、ネジ・ボルトなど優れた機能を発揮する材料の開発、製造、販売を手がけています。



売上高／売上収益 (億円)



営業利益 (億円)



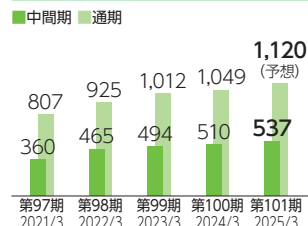
自動車部品・産業機械部品



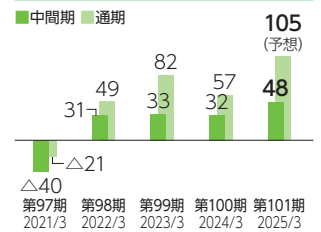
自動車部品・ベアリング向けの型鍛造品、エンジンバルブやターボ関連製品を主力とする精密鍛造品、発電機、大型輸送機、プラント向けの自由鍛造品、鋳鋼品を製造・販売しています。



売上高／売上収益 (億円)



営業利益 (億円)



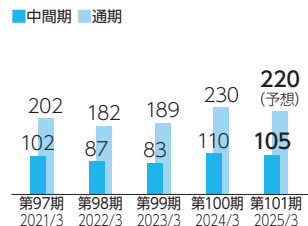
エンジニアリング



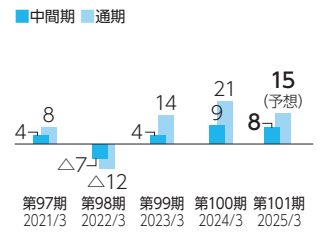
特殊鋼製造で培ったノウハウと技術を活かし、鉄鋼設備、工業炉、環境設備、各種機械の設計から施工、メンテナンスまで行っています。



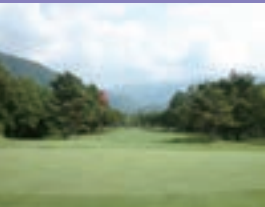
売上高／売上収益 (億円)



営業利益 (億円)



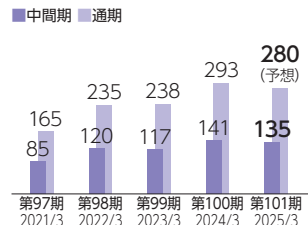
流通・サービス



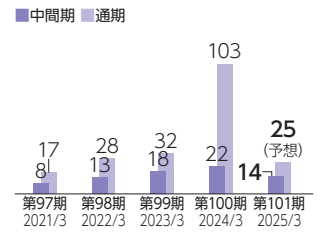
不動産事業、福利厚生、保険の取扱い、ゴルフ場経営、鉄鋼・セラミックス等の分析、情報システムの販売など多岐にわたる事業を展開しています。



売上高／売上収益 (億円)

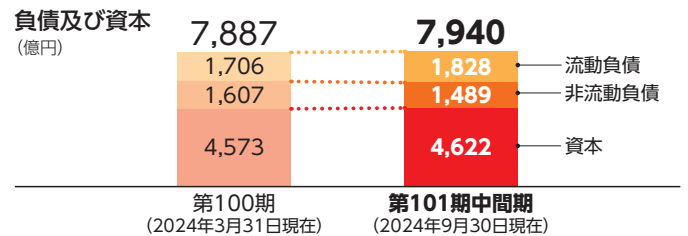
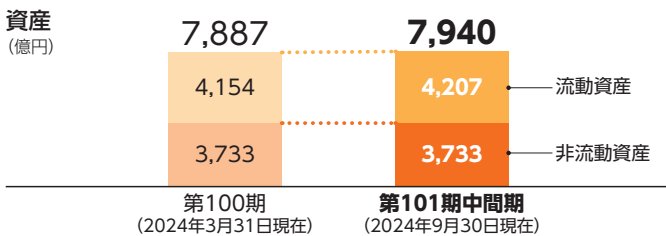


営業利益 (億円)

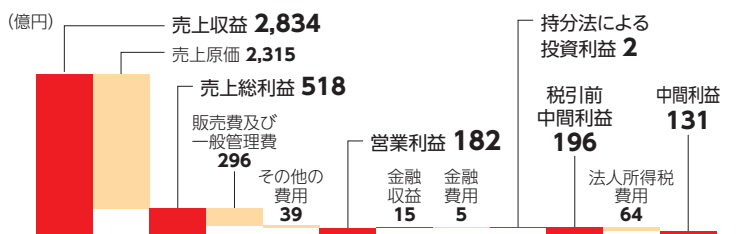


連結財務諸表

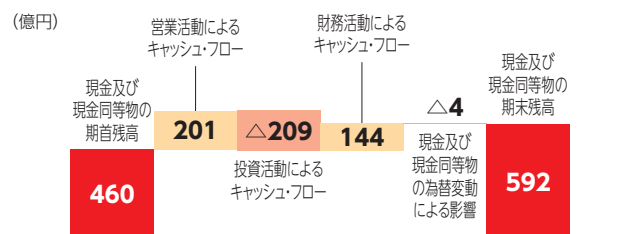
財務の状況



損益の状況 2024年4月1日～2024年9月30日



キャッシュ・フローの状況 2024年4月1日～2024年9月30日



※金額は、億円未満を切り捨てて表示しています。

2026中期経営計画 —トランジション・マネジメント—



社会経済・産業構造の変化を事業好機とし、事業ポートフォリオの変革を遂行し、新たなビジネス・ドメイン(顧客×提供価値×手段)で持続的な利益成長を実現する



2030年の“ありたい姿”

高機能素材の価値を極め、顧客ベネフィット*を創造し、サステナブル社会の実現に貢献する ※満足、利益

■ 行動方針

1

事業ポートフォリオの変革

- 新たな顧客、新たな提供価値(次世代製品、新事業など)を開発する
- 価値提供の手段(生産技術、サプライチェーンなど)を変革する

2

経営基盤の強靱化

- 6つの「経営基盤」を“大同DX”の実践と人的資本投資などの実行で強靱化する
- 1 人的資本
 - 2 組織機能(組織ケイパビリティ)
 - 3 生産技術、品質マネジメントシステム
 - 4 研究開発データベース
 - 5 財務戦略(財務基盤)
 - 6 顧客基盤

3

ESG経営の高度化

- ESG課題解決の価値を顕在化させ、企業価値向上・利益成長に結びつける
- 1 E: 2050年カーボンニュートラル化
 - 2 E: 環境に配慮した製品の供給
 - 3 経営理念の浸透と共創人材の育成、DE&I*推進
 - 4 ステークホルダーコミュニケーション
- ※DE&I: ダイバーシティ(多様性)・エクイティ(公平性)& インクルージョン(包括性)



高合金プロセス改革プロジェクト

投資金額 300億円

利益成長 +50億円

投資効率 ROIC 9%

- 渋川工場の熱処理、機械加工、検査工程を知多第2工場へ移管し、渋川工場の溶解~鍛造工程を最新鋭化
- 渋川工場を航空機向製品、火造品の一貫製造工場とする一方、名古屋地区の高合金製造プロセスを進化させる

投資対象設備

渋川工場：航空機・火造品 一貫製造特化

- VIM 増強 ● ESR 増設(リプレイス)
 - 大型4面鍛造機 導入
 - 加工検査設備 導入(航空機・火造品用)
- ※VIM: 真空誘導炉、ESR: エレクトロスラグ再溶解炉



大型4面鍛造機

【移設】加工設備(高合金・工具鋼 鍛延品用)

知多第2工場：鍛延品 高効率 加工検査

- VAR×2基 増設 ● 熱処理炉 導入
 - 加工検査設備 導入(高合金・工具鋼 鍛延品用)
- ※VAR: 真空アーク再溶解炉

■ 経営目標

	2023年度実績 (日本基準)	2026中期目標 (IFRS)	2030年度“ありたい姿”
営業利益	421億円	600億円以上	800億円以上
自己資本利益率 (ROE)	12.5%以上 (除く特別損益7.8%)	9%以上	10%以上
D/Eレシオ*	0.41	0.5目安	0.5目安
投資額 (3年累計決裁額)	21-23年累計 947億円	24-26年累計 1,500億円	—
株主還元 ※一過性損益を除く	配当性向 31.6%	配当性向30%以上	—

※D/Eレシオ: デットエクイティレシオ 負債資本倍率のこと。有利子負債が自己資本の何倍かを計算した数値で、企業財務の健全性を評価する指標の一つ。数値が低いほど財務の健全性が高いことを示す。

会社概要

社名	大同特殊鋼株式会社
英文社名	Daido Steel Co., Ltd.
本社所在地	〒461-8581 名古屋市東区東桜一丁目1番10号 アーバンネット名古屋ビル
創業	1916年8月19日
設立	1950年2月1日
資本金	371億7,246万4,289円

取締役

代表取締役会長	石 黒 武
代表取締役社長	清 水 哲 也
代表取締役副社長	山 下 敏 明
取締役	梶 田 聡 仁
取締役	岩 田 龍 司
取締役	鹿 嶋 忠 幸
取締役(社外/独立役員)	平 光 範 之 一
取締役(社外/独立役員)	山 本 良 一
取締役(社外/独立役員)	神 保 睦 子
取締役常勤監査等委員	志 村 進
取締役常勤監査等委員(社外/独立役員)	小 野 竜 一 郎
取締役監査等委員(社外/独立役員)	松 尾 憲 治

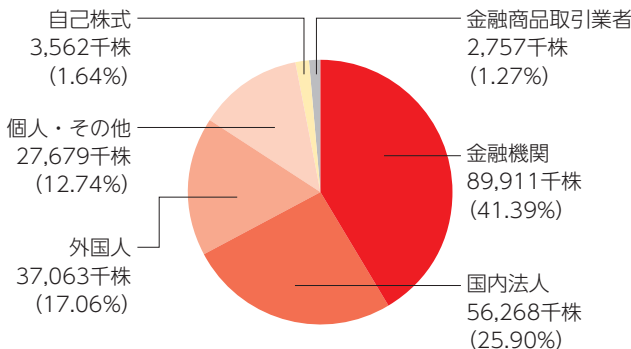
株式の状況 2024年9月30日現在

発行可能株式総数	580,000,000株
発行済株式の総数	217,243,845株 (自己株式 3,562,550株を含む。)
株主数	26,175名

大株主(上位10名) 2024年9月30日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,257	9.94
日本製鉄株式会社	15,504	7.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	13,826	6.47
明治安田生命保険相互会社	10,379	4.85
株式会社みずほ銀行	7,886	3.69
日本発條株式会社	7,248	3.39
本田技研工業株式会社	6,526	3.05
株式会社三菱UFJ銀行	6,071	2.84
トヨタ自動車株式会社	4,345	2.03
日鉄興和不動産株式会社	3,747	1.75

所有者別株式分布状況



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.daido.co.jp/koukoku.html

単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



Webサイトのご案内

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。



<https://www.daido.co.jp/>

